



# 医療連携だより [アシスト]

# ASSIST

2020.5  
No.50

帝京大学医学部附属病院



## contents

主任教授就任のご挨拶  
診療科長就任のご挨拶  
教授就任のご挨拶  
教授就任のご挨拶

帝京大学医学部附属病院 リハビリテーション科 主任教授 緒方 直史  
帝京大学医学部附属病院 病院病理部・病理診断科 教授 笹島 ゆう子  
帝京大学医学部附属病院 メンタルヘルス科 教授 功刀 浩  
帝京大学医学部附属病院 肝胆膵外科 教授 三澤 健之



## 主任教授就任のご挨拶

### リハビリテーション科を受けてよかった！をめぐして

帝京大学医学部附属病院 リハビリテーション科 主任教授 緒方 直史

令和2年4月より帝京大学医学部リハビリテーション医学講座が開設されましたので、リハビリテーション科の御紹介を兼ねて御挨拶申し上げます。帝京大学ではかねてより、リハビリテーション科としてリハビリテーション診療を行って参りましたが、今回新たにリハビリテーション医学講座となりました。当院に入院されている患者さんに対して、急性期のリハビリテーション診療を行っており、入院患者さんが可能な限り、入院中の日常生活活動を維持、あるいは向上できるようにリハビリテーションを行っております。リハビリテーション医に加えて、28名の理学療法士（心臓リハビリテーション担当6名）と7名の作業療法士、2名の言語聴覚士で急性期リハビリテーションに対応すべく日々奮闘しているところです。

入院中の患者さんのリハビリテーションは様々な診療科から依頼があり、整形外科・脳神経内科・脳神経外科・循環器内科はもちろんですが、呼吸器外科、泌尿器科、形成外科などほとんどの診療科の患者さんにリハビリテーションを行っています。特に帝京大学は地域がん診療

連携拠点病院（高度型）でもあり、がん患者さんのリハビリテーションに力を入れております。がん患者さんは、がんそのものや、がん治療によって体力が落ちてしまうのみでなく、「がんロコモ」と言われて、歩ける方が歩けなくなってしまうことを予防するよう、運動器の観点からしっかりとサポートして参ります。また、手術後早期にリハビリテーションを開始して元の状態に戻すことをめざしており、周術期のリハビリテーションも積極的に取り組んでおります。ロボットを用いて機能回復をめざしたりリハビリテーションも始めております。心臓リハビリテーションは施設も充実しており、多くの心疾患の患者さんにリハビリテーションを入院・外来ともに行っております。

専門外来も行っており、四肢痙縮治療に注目されている、「ボツリヌス治療外来」は積極的に行っていきます（毎週木曜午後）。2歳以上の脳性麻痺や脳卒中片麻痺、頸髄胸髄損傷における上肢下肢痙縮に対する治療を行っています。義肢装具・車いすシーティング外来もあり、脳卒中や脊髄損傷後の患者さんに訓練や生活に



リハビリテーション科スタッフ一同

とつて必要な装具や車いす、下肢切断後の義足や上肢切断後の義手などの作製を行っています。作製だけでなく、使用に必要な訓練も適宜行います。その他、末梢神経麻痺に対しての電気診断学外来や障害者スポーツ相談外来や障害のある方の在宅リハビリテーションの相談外来なども行ってまいります。

ご紹介いただいた患者さんが入院中にリハビリテーションを受けてよかった、と言っていただけでも今後とも研鑽して参りますので、どうぞよろしく申し上げます。

帝京大学医学部附属病院 リハビリテーション科 主任教授  
緒方 直史 (おがた なおし)

1992年 千葉大学医学部医学科卒業  
東京大学医学部附属病院整形外科入局  
2000年 アメリカ合衆国ハーバード大学医学部  
マサチューセッツ総合病院リサーチフェロー  
2003年 東京大学医学部整形外科 助教  
2009年 東京大学医学部附属病院寄附講座  
骨・軟骨再生医療講座特任准教授  
2011年 東京大学医学部附属病院  
リハビリテーション部 講師

2014年 帝京大学医学部附属病院  
リハビリテーション科 教授  
2020年 4月より帝京大学医学部  
リハビリテーション医学講座 主任教授

#### 【専門分野】

リハビリテーション医学一般、脊髄損傷、  
装具学、動作解析





## 診療科長就任のご挨拶

精確で迅速な病理診断を心がけています

帝京大学医学部附属病院 病院病理部・病理診断科 教授 笹島 ゆう子

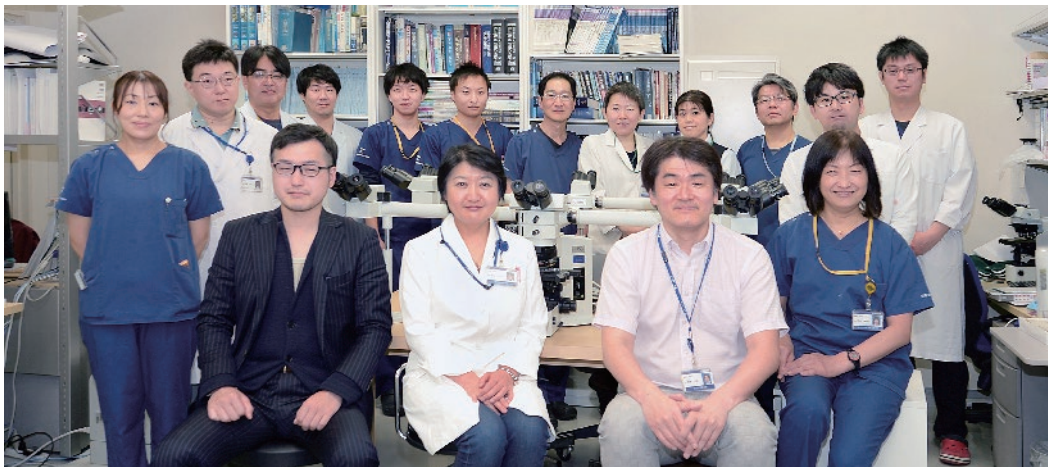
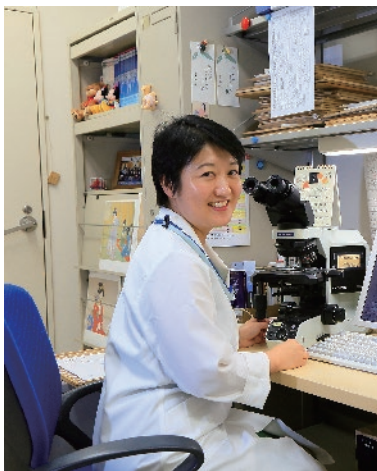
このたび病理診断科長に就任いたしました笹島ゆう子（ささじまゆうこ）と申します。

病気の患者さんを適切に治療するためには、その病気がどんな病気であるか、的確に診断しなくてはなりません。病気を持つ患者さんの体から採取された臓器（例えば胃癌患者さんの胃など）や組織・細胞を、肉眼あるいは顕微鏡で観察し、この病気が何であるか、どのくらい進行しているかなどの判定を下すことを病理診断といい、これを行っているのが病理診断科です。病理診断科（病院病理部）は、病理診断を行う病理医、顕微鏡標本を製作する臨床検査技師、周辺事務を担当する事務職員によって構成されています。

病理診断を専門とする私たち病理医は、患者さんに直接お会いすることはありませんが、患者さんの臓器や細胞から作製した顕微鏡標本を観察することで病理診断を行います。病理医によって作成される病理診断報告書を受け取って初めて、主治医は適切な治療を開始できるのです。当院病理診断科では、年間約20,000件の病理診断（組織診断約9,000件、

細胞診断約11,000件）を行うとともに、カンファレンス（症例検討会）等を通じて院内の各診療グループと密接な連携を取り、医療チームの一員として患者さん一人ひとりの治療方針の決定に寄与する情報を提供しています。

各々の病理医が最新の知見を包含した精確な病理診断を心がけるとともに、必要に応じて外部（日本病理学会、国立がん研究センターなど）セカンドオピニオンシステムも利用しながら科全体として診断レベルの維持・向上を目指し、病理診断の立場から地域の医療連携に貢献していきたいと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。



病理診断チーム



帝京大学医学部附属病院 病院病理部・病理診断科 教授  
**笹島 ゆう子**（ささじま ゆうこ）

1991年 3月 群馬大学医学部医学科卒業  
 1995年 3月 東京大学大学院医学系研究科  
 博士課程修了  
 1995年 4月 東京大学医科学研究所病理学研究部  
 客員研究員  
 1996年 4月 NTT東日本関東病院病理診断科  
 常勤嘱託医  
 1999年 4月 昭和大学医学部第一病理学講座 助手

2001年 4月 国立がん研究センター中央病院  
 臨床検査部 医員  
 2007年 2月 国立がん研究センター中央病院  
 臨床検査部 医長  
 2011年 4月 帝京大学医学部病理学講座  
 准教授  
 2014年12月 帝京大学医学部附属病院  
 病院病理部・病理診断科 教授



# 教授就任のご挨拶

## 「精神栄養学」という新しい分野の研究や実践を行っています

帝京大学医学部附属病院 メンタルヘルス科 教授 功刀 浩

2020年4月1日から精神神経科学講座教授に就任いたしました功刀浩（くぬぎ ひろし）と申します。私は1986年に東京大学を卒業後、すぐに帝京大学の研修医（精神神経科）となり、以後、ロンドン大学精神医学研究所に留学していた1年半を除いて本校に約15年間お世話になりました。その後、国立精神・神経医療研究センター神経研究所（疾病研究第三部）の部長となり、厚生労働科学研究、精神・神経疾患研究開発費、科研費、CREST、AMEDの研究費（創薬基盤研究事業や脳科学研究戦略推進プログラム）などを受け、統合失調症やうつ病の病態解明研究を18年間行いました。研究所では、脳脊髄液試料を用いた研究などにより精神疾患の謎をほんの少し解明できたかもしれませんが、まだまだ謎は深まるばかりです。本学におきましても研究を続けていきたいと考えております。

帝京大学時代には、初代主任教授の風祭元先生に薬物療法を、廣瀬徹也先生（第二代主任教授）に気分障害（うつ病、躁うつ病）の臨床を、南光進一郎先生（第三代主任教授）から遺伝子研究を、池淵恵美先生

（第四代主任教授）からは統合失調症の臨床を教えていただきました。また、私の研修医時代のオーベンは藤山直樹先生（前上智大学臨床心理学教授）で、本格的な精神療法も学ぶことができました。このように本学は素晴らしいスタッフに恵まれており、このたび古巣に戻って来られたことを光栄に存じます。林直樹先生（現主任教授）のもとでいくらかでも恩返しができるよう微力を尽くしたいと思っております。ただし、精神医学は奥が深く、いまだに患者さんから教えていただく日々の連続であり、今後皆様のご指導を受けつつ学んでいきたいと思っております。

精神疾患の治療では、薬物療法や精神療法が重要なものというまでもありませんが、私は食事・栄養・運動・睡眠といったライフスタイル改善の有効性に注目し、「精神栄養学」という新しい分野の研究や実践を行っています。長い間研究所で生活しておりましたので、臨床・教育・研究の三本柱の生活のベースになれるには少し時間がかかるかもしれませんが、ご指導、ご鞭撻のほど、宜しくお願い申し上げます。



NHKスペシャル「キラーストレス」で解説



精神栄養学関連著書



帝京大学医学部附属病院 メンタルヘルス科 教授  
功刀 浩（くぬぎ ひろし）

- 1986年 東京大学医学部卒
- 1991年 帝京大学医学部精神神経科助手
- 1994年 ロンドン大学精神医学研究所にて研究（1年半）
- 1998年 帝京大学医学部精神神経科講師
- 2002年 国立精神・神経医療研究センター神経研究所 疾病研究第三部長
- 2020年 4月1日より現職
- 日本生物学的精神医学会副理事長、  
日本臨床栄養協会理事

### 【資格】

- ・医学博士
- ・精神保健指定医
- ・日本精神神経学会指導医
- ・日本臨床栄養学会指導医
- ・日本睡眠学会認定医
- ・日本総合病院精神医学会連携精神医学指導医
- ・日本老年精神医学会指導医
- ・日本医師会認定産業医



## 教授就任のご挨拶

### 「患者さんファーストの医療」で肝胆膵の大手術を低侵襲に！

帝京大学医学部附属病院 肝胆膵外科 教授 三澤 健之

この度、令和2年4月1日付で帝京大学医学部外科学講座・肝胆膵外科に赴任した三澤健之と申します。母校である帝京大学で仕事ができることを大変嬉しく思っております。

私の専門は肝胆膵外科全般と脾臓の手術ですが、とくに腹腔鏡を用いた低侵襲手術を得意としております。日本内視鏡外科学会の技術認定医と日本肝胆膵外科学会の高度技能指導医資格を活かし、これまで腹腔鏡下膵切除術や肝切除術、脾摘術を多数手がけて参りました。肝胆膵領域の開腹手術は大手術・難手術が多く、患者さんへの侵襲も大きくなりがちです。従いまして、腹腔鏡手術を応用した場合、患者さんへの負担軽減はとて顕著になります。キズが小さく整容性に優れる、術後の痛みが少ない、など患者さんにとって優しい手術ですが、その他にも開腹手術後によくみられる腸閉塞や腹壁癒痕ヘルニアといった厄介な合併症が少ないといったメリットがあります。また術後の回復が早いことから、脾がん治療で重要な術後補助化学療法を早期に導入できるという利点もあります。脾がんでは腹腔鏡手術が開腹手術に比べて予後が良くなる可能性があると言われてはいるもののためです。悪性腫瘍をはじめ肝胆膵領域のほぼすべての疾病が腹腔鏡手術の対象

ですが、検診などで偶然に診断されることの多い脾臓の良悪性境界病変、たとえば脾管内乳頭粘液性腫瘍（IPMN）、神経内分泌腫瘍（PNET）、粘液性嚢胞腫瘍（MCN）、あるいは脾臓の腫瘍などは単純な切除によって診断と根治が同時に得られるので、侵襲の少ない腹腔鏡下手術のとても良い適応です。紙面の都合がありますので、詳細にしましては、どうぞ何でもお気軽にご相談ください。その他、低侵襲手術の一環として、先進設備の整った帝京大学病院においては、一般には広まっていない肝胆膵領域のロボット手術や全くキズの残らない単孔式内視鏡手術（一か所のキズから行う腹腔鏡手術）にも積極的に取り組んで行きたいと考えております。

帝京大学病院では「患者そして家族と共にあゆむ医療」を理念としております。一方、私が30年以上勤務した前任地の慈恵医大病院における理念は「病気をみずして病人を見よ」でした。両者の共通点は、いま風に表現すれば「患者さんファーストの医療」ということになります。常に患者さんを第一に考え、最善の治療を受けていただくために、地域の病院・診療所の先生方、そして肝胆膵外科スタッフとの連携をとりながら精一杯頑張る所存です。ご指導のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。



腹腔鏡下膵頭十二指腸切除術（術者：三澤健之）



趣味はフライフィッシング(北海道にて)



帝京大学医学部附属病院 肝胆膵外科 教授

**三澤 健之**（みさわ たけゆき）

1986年 帝京大学医学部卒業(サッカー部)  
慈恵医大外科 研修医

1992年 慈恵医大大学院博士課程卒業、医学博士  
慈恵医大第1外科 助手

1994年 米国南カリフォルニア大学外科 研究員

2000年 慈恵医大外科 講師(専任)

2009年 慈恵医大外科 准教授(専任)

2011年 帝京大学医学部 特別講師

2013年 慈恵医大附属柏病院外科 診療副部長  
University of North Carolina,  
Carolinas Medical Center (Charlotte)  
客員教授

2018年 慈恵医大附属柏病院外科 診療部長

2020年 4月1日より現職

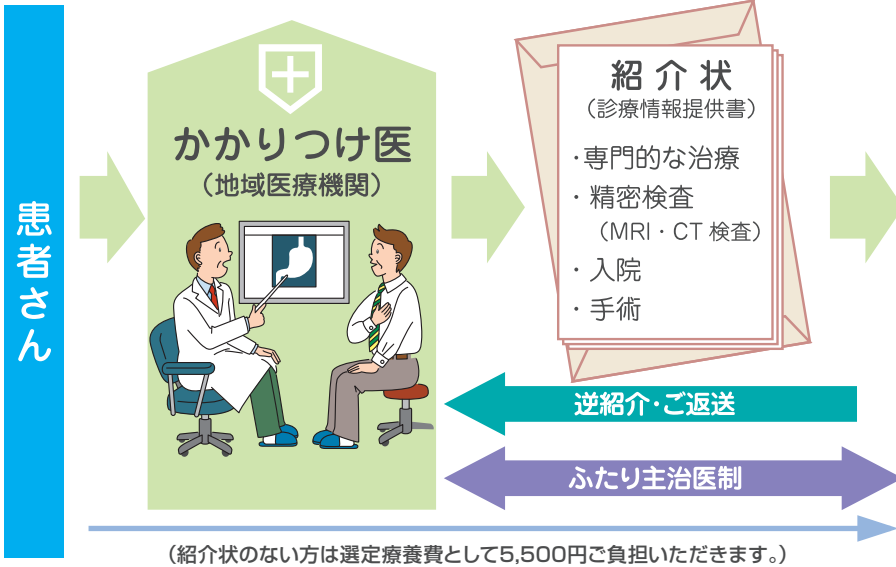
日本外科学会指導医、日本消化器外科学会評議員・指導医・癌外科治療認定医、日本肝胆膵外科学会評議員・高度技能指導医、日本内視鏡外科学会評議員・技術認定審査委員・技術認定医、日本ヘルニア学会理事、米国外科学会フェロー会員など

# 帝京大学病院では紹介状があれば初診でも予約\*ができます。

※事前にお電話下さい

## 医療連携の流れ

帝京大学病院では、かかりつけ医との機能分担をすることにより、専門的な治療(手術、入院、精密検査など)をおこないます。



(紹介状のない方は選定療養費として5,500円で負担いただきます。)

## 帝京大学医学部附属病院 予約専用(医療連携室) 03-3964-1498

予約受付時間  
平日 8:30~17:00  
土曜日 8:30~12:30

### 初診受付

診療受付時間  
平日 (予約あり) 8:30~14:30  
(予約なし) 8:30~11:30  
13:00~14:30  
土曜日 8:30~11:30

### 紹介状をお持ちの患者さん

- ① 予約電話(03-3964-1498)までお電話ください。  
電話予約の際にご確認させていただく項目  
(お名前、生年月日、性別、住所、電話番号など)
- ② 予約完了
- ③ 当日は15分前までに初診受付までお越しください。

### 紹介状をお持ちでない患者さん

- ◎ 初診受付  
診療受付時間 平日 8:30~11:30/13:00~14:30  
土曜日 8:30~11:30  
直接初診受付へお越しください。  
※当日の診察状況によっては受診できない場合もございます。



上の地図は略図のため、実際の地形とは異なりますのでご注意ください。

- 1 JR埼京線 十条駅  
  - 北口より徒歩約10分
  - 北口ロータリータクシー乗り場より約6分
- 2 都営三田線 板橋本町駅  
  - A1出口より徒歩約13分
  - A1出口より約6分
- 3 JR埼京線 板橋駅  
  - 西口①番のりばより  
帝京大学病院経由、王子駅行き 乗522 (約8分)
  - 「帝京大学病院」バス停下車  
西口より約9分
- 4 JR各線 赤羽駅  
  - 東口⑤番のりばより  
高円寺駅北口行き 乗31 (約11分)
  - 「姥ヶ橋」バス停下車徒歩約5分
  - 西口⑥番のりばより王子駅行き 乗50 (約14分)
  - 「上十条四丁目」バス停下車徒歩約5分
  - 西口より約12分
- 5 JR京浜東北線・東京メトロ南北線 王子駅  
  - 北口⑥番のりばより  
帝京大学病院経由、板橋駅行き 乗522 (約12分)
  - 「帝京大学病院」バス停下車  
北口より約9分
- 6 JR各線・東京メトロ各線 池袋駅  
  - 西口より約16分
- 7 東武東上線 上板橋駅  
  - 北口①番のりばより王子駅行き 乗54 (約13分)
  - 「姥ヶ橋」バス停下車徒歩約5分
- 8 東武東上線 ときわ台駅  
  - 北口①番のりばより王子駅行き 乗54 (約9分)
  - 「姥ヶ橋」バス停下車徒歩約5分
  - 北口より約12分

※所要時間は日中平常時、最短時間の目安となっておりますので、時間帯や道路状況により異なります。

① タクシーをご利用の場合 ② バスをご利用の場合 ③ 徒歩の場合



特定機能病院  
地域がん診療連携拠点病院(高度型)  
東京都災害拠点病院

## 帝京大学医学部附属病院

〒173-8606 東京都板橋区加賀2-11-1  
TEL.03-3964-1211(代表)  
お問い合わせ E-mail:renkei@med.teikyo-u.ac.jp



帝京大学病院 検索

www.teikyo-hospital.jp